

リスクマネジメント



基本的な考え方

ミネベアグループでは、リスクが顕在化した場合、その対応によっては企業経営の根幹に影響を及ぼす恐れがあるとして、危機管理は極めて重要な施策であると考えています。危機管理体制や、事前の予防対策、緊急事態発生時の対応などについて定めた「ミネベアグループ危機管理基本規程」を制定し、想定されるさまざまなリスクに備えています。

危機管理体制

ミネベアグループでは、社長執行役員を危機管理の最高責任者とし、「危機管理委員会」にて危機管理における重要な意思決定を行っています。予防的な取り組みとして、事前に具体的なリスクを想定、分類し、継続的に監視しています。万が一危機事案が発生した場合には、事態の緊急度からレベルを1～3に分類し、危機管理委員会での協議を経て、緊急対策本部や現地対策本部の設置を行い、事態への迅速かつ的確な対応を行います。また、危機管理事案の内容により、当該事案の担当部署として主管部が任命され、当該事案についての危機予防対策の立案や実施を行う体制を整えています。

情報セキュリティ

●情報セキュリティ体制

ミネベアグループでは、情報資産を守ることは信頼関係を築く上での責務と考え、「ミネベア及びミネベアグループ情報の保護（情報セキュリティ）に関する基本方針」を定め、その徹底に努めています。

また、常務執行役員を長とする「情報セキュリティ委員会」を設け、各国ごとの推進体制として「情報セキュリティタスクフォース」を編成しています。

●情報セキュリティ教育

ミネベアグループでは、従業員の情報セキュリティへの意識向上を目的に、情報セキュリティ教育を実施しています。年1回の情報セキュリティに関する説明会の実施、新入社員や中途採用社員に対する入社時の教育のほか、情報セキュリティタスクフォースによる個別指導

を実施しています。2013年度は1年を通じて、情報セキュリティに関する説明会を実施し、派遣社員、協力会社従業員を含む11,333名の従業員が参加しました。

●個人情報保護の取り組み

ミネベアグループで保有する個人情報については、「個人情報保護方針」にのっとり適切に管理するほか、その利用目的を明確にし、利用目的の範囲内での取り扱いを徹底しています。

BCPの取り組み

ミネベアグループでは、大規模災害、インフルエンザ、テロなどの緊急事態発生時に、従業員やその家族の安全を確保するとともに、世界トップシェアの製品を持つ部品メーカーとして、お客様への供給責任を果たすことが当社の社会的責任であると考え、国内外の主要拠点においてBCP（事業継続計画）を策定し運用を開始しています。

2013年度は、軽井沢工場地震を想定したBCPの訓練を3回実施しました。また、海外においては、タイで洪水を想定した防水板設置の訓練をするるとともに、カンボジアや中国（上海）でも非常時の訓練を実施しました。

今後の課題・目標

引き続き、さまざまなリスクに対して対応できるBCP体制の確立に向け、カンボジアや中国など国内外の拠点でBCPの策定を行うとともに、その定着を目指し訓練を実施していきます。

ピーターボロー工場（アメリカ）における爆発事故について

2014年2月10日、アメリカピーターボロー工場において爆発事故が発生し、22名が負傷しましたが、多くの関係各位のご協力により、2014年2月13日より順次操業を再開しました。調査の結果、表面加工に使用した化学薬品廃棄物が原因であると判断し、再発防止に向け取り扱い手順の改善、危険物資の総点検、従業員教育を実施しました。お客様への供給責任と従業員の安全確保の役割を担う企業として、今後も製造現場の改善に取り組んでいきます。